

## エフピコとオークワは 「トレーtoトレー」などの水平リサイクルを促進します

～2024年12月迄に CO2排出抑制 年間1,500tを目標～

株式会社オークワ(代表取締役社長:大桑弘嗣、以下オークワ)と株式会社エフピコ(代表取締役会長:佐藤守正、以下エフピコ)は、使用済食品トレーをお店で資源として回収し、食品トレー・容器に再生し、再びお店で積極的に使用する水平リサイクルを促進します。

### ●本取り組みについて

地域の皆様の使用済食品トレーをオークワ店舗にお持ちいただき、店舗に設置している回収BOXにて回収します。

店舗で回収した使用済食品トレーはすべてエフピコにて資源として活用され、“エコトレー”に生まれ変わり、再びオークワの売場に並ぶ事で『水平リサイクル』と『循環型リサイクル』実現に努めます。



### ●取り組み目的について

オークワとエフピコ両社の取り組みが融合する事で持続可能な循環型リサイクル活動を促進し、

- 1) 環境に配慮した商品づくりと提供の推進
  - 2) 省エネルギー、省資源化の推進
  - 3) 廃棄物削減と資源の有効活用 of 取組
  - 4) 地域社会の環境保全活動の支援
- を目指しています。

●取り組みの数値目標について

オークワによる使用済食品トレーの2023年の回収量は136.5tとなり、エコトレーをお肉やお魚、お惣菜やサラダ容器などに幅広く使用し、1,335tのCO2排出量を抑制できました。

オークワの店舗・店頭での環境取り組みの訴求や環境イベントの実施でお客様の理解を深め、回収トレーを増やす事で2024年は『使用済食品トレー回収量150t』の資源回収を目指し、エコトレーを積極的に使用する事でCO2排出抑制『年間1,500t』を目指します。

オークワとエフピコは『お店が地域のエコリーダー』となる事を目指し、地域の環境負荷軽減、リサイクル資源の有効活用を積極的に行い、持続可能な循環型社会の推進に貢献して参ります。

